

ILO地域機構見直し(FSR)について

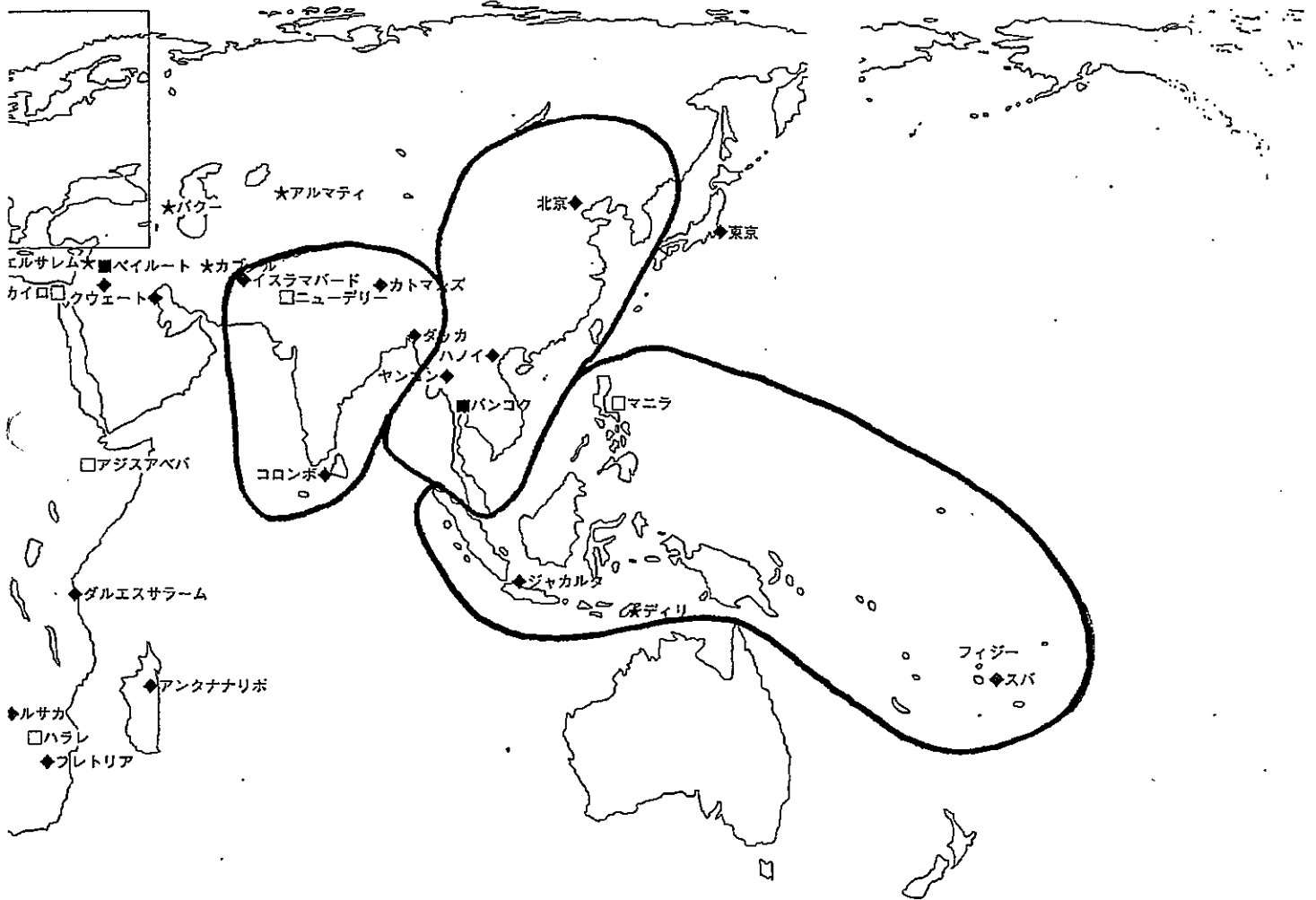
1. 概要

- (1) 従来、ILOの地域機構は、地域事務所(RO)、準地域事務所(SRO)、国別事務所(CO)の3層構造となっていた。
- (2) 本年3月のILO理事会において、3層構造による意志決定の重複等を是正し、よりフラットな組織とするため、準地域事務所(SRO)を廃止し、2層構造とすることが決定された。
- (3) 合わせて、国別事務所に対する技術的サポートのため、ディーセントワーク技術支援チーム(DWT)が設置され、機動的に技術支援を行うこととされた。

2. アジア太平洋総局(ROAP)内部における変更

- (1) アジア太平洋総局内の地域機構は下図のとおり、3つの準地域事務所(マニラ、バンコク、ニューデリー)があったが、これを二つの技術チーム(バンコク、ニューデリー)に集約することとなった。(別添1参照)
- (2) 技術支援チームの運用については、事務局の案として別添2が示されている。

ILO アジア太平洋地域総局(ROAP)の所管地域



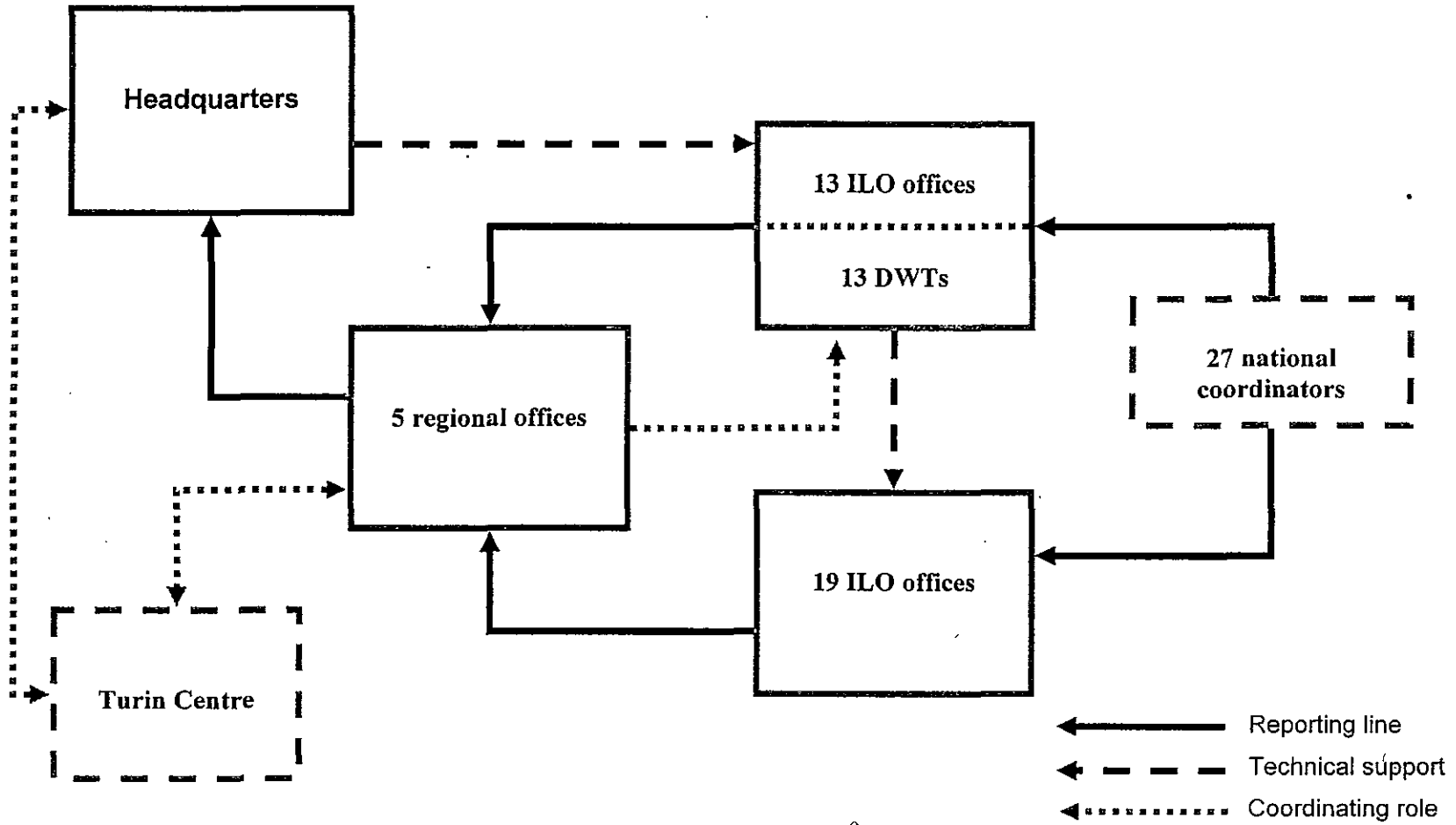
■地域総局 (Regional Office) □準地域総局 (Subregional Office)
◆現地事務所 (Office)
★連絡員 (Liaison Officer) ・ 通信員 (National Correspondent) など

アジア

- アジア太平洋地域総局 (バンコク)
- 東アジア準地域総局 (バンコク)
- 東南アジア・太平洋準地域総局 (マニラ)
- 南アジア準地域総局 (ニューデリー)
- ◆事務所 (東京、北京、コロombo、ダッカ、ハノイ、イスラマバード、ジャカルタ、カトマンズ、スバ、ヤンゴン)
- ★連絡員 (デリ、カブール)

(注) 本年3月の理事会で決定した地域機構の見直し(FSR)により、SRO は廃止され、「ディーセントワーク技術支援チーム」(DWT)がニューデリーとバンコクに配置されることとなっている。

ILO field organizational chart



ILO地域機構圖(事務局案)

(別添2)